



田中愛治総長 揮毫

令和4年 10月1日発行

第23号

編集発行 我孫子稲門会

白戸章雄



界は一寸先は闇だ。」と言って 緑状降水帯の出現など、うっ 総理への銃撃事件、度重なる ウクライナへの軍事侵攻、元 なりません。長引くコロナ禍、 いましたが、政界に限らず、 島正次郎自民党幹事長が、「政 今や世の中全体が闇に思えて かつて、千葉一区選出の川

(昭40政経)

溜飲がやっと下がった思いで 連続の書面議決は回避でき、 けることを優先させました。 放」なしという形で、密を避 とおり、6月18日(土)に を設けることができました。 会則にも晝囬議決の根拠規定 ましたが、お陰さまで、三年 わない前代未聞の総会となり なし、講演会などの「市民開 と模索。結果として、「懇親会」 か開催するすべはないものか の意思決定機関であり、何と きかどうか迷いましたが、総 **東しない中で、総会を開くべ** 開催しました。コロナ禍が収 会こそが我孫子稲門会の最高 酒もない、「都の西北」も歌

かり居眠りもしていられませ

今年度の総会は、ご承知の

ださるようお願いいたします。 職後間もない校友の入会を促 この流れを食い止め、特に退 いるということにあります。 ております。ぜひお力添えく す方策はないものかと苦慮し 稲門会の会員数が減り続けて 落ち着かない日々が続いて 目下の頭痛のタネは、我が

支部事務局や関係の方々のご 了しました。 の併用で開催し、混乱なく終 尽力により、対面とリモート を務めた千葉県稲門祭は、県 順番で、我孫子が実行委員長 動自粛となってしまいました。 年会も中止、親睦を深める場 である同好会も休会ないし活 **令和3年度を顧みますと新**

、増のためにお力添えを

あります。

健勝をお祈りいたします。 おりますが、会員の皆様のご

令和 3 年度収支決算

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

金額	支出	金額
429, 000	会員募集費用	-
	総会開催費用	26, 394
-	新年会費用	1
	企画事業費	_
-	会報発行費	11, 450
	部会補助	-
	支部活動費	10, 000
	交際費	25, 500
-	通信費	47, 848
	事務費	140
3	会議費	-
	交通費	_
	事務用消耗品費	4, 983
	寄付金	50, 000
429, 003	合計	176, 315
359, 691	特別勘定繰入	50, 000
788, 694	次年度繰越金	562, 379
	429, 000 - - 3 429, 003 359, 691	429,000 会員募集費用 総会開催費用 一 新年会費用 企画事業費 会報発行費 一 会報財 支部活動費 交際費 一 通信費 事務費 会議費 交通費 事務用消耗品費

令和 4 年度収支予算

		令和年4月1日から令和5年3	3月31日まで
収入	金額	支出	金額
年会費	450, 000	会員募集費用	20, 000
		総会開催費用	50, 000
総会会費	-	新年会費用	270, 000
		企画事業費	30, 000
新年会会費	240, 000	会報発行費	20, 000
		部会補助	20, 000
企画事業会費	30, 000	支部活動費	40, 000
		交際費	80, 000
祝い金	-	通信費	50, 000
		事務費	10, 000
		会議費	10, 000
支部補助金	-	交通費	10, 000
		事務用消耗品費	20, 000
受取利息	3	寄付金	50, 000
合計	720, 003	合計	680, 000
前年度繰越金	562, 379	30周年記念事業積立資金	50, 000
収入合計	1, 282, 382	支出合計	730, 000
		次年度繰越金	552, 382

昨年と晝面議決となったため、 階の我孫子南近隣センター 対面での総会は3年振り。ま ホールで開催された。一昨年、 10 時から、けやきプラザ9 **令和4年度我孫子稲門会総** 6月18日 (土) 午前

だまだ収まらないコロナの感

第一部は、

我孫子市史研究

りやめ、また、来賓は招かず 染拡大に考慮し、懇親会は取 会員のみで座席の間隔を空け 超える 41 名の参加を得た。 ての実施となったが、予想を 第一部

> 名をテーマにお話をいただい た。(講演会の内容は、6面に 氏による講演会。我孫子の地 センター事務局長の荒井茂男

総

第二部の総会では、

された以下4件の議案につい 議長を務め議事を進行。提出 長挨拶の後、引き続き会長が 白戸会 動はできなかった。

議案1 令和3年度事業報告 収支決算·監査報告

は中止。同好会はほとんどが 自粛を余儀なくされ十分な活 が、総会は書面議決、新年会 会等は予定どおり執行できた が長引く中、会報発行、幹事 事業については、コロナ禍 て、すべて異議なく承認され

議案2 令和4年度事業計画・

あるものの、可能ならば新年 状況が依然として不透明では 会を開催、 4年度の事業は、コロナの 同好会活動は感染

円にとどまった。(左表令和3 年度収支決算) 対し、実績は176, 支出予算660, このため決算については、 000円に 3 1 5

こととした。

予算については、

状況を見極め再開を検討する

◆令和4年度役員

V 1- 11		
役 職	氏 名	卒年•学部
会 長	白戸 章雄	S40年政経
副会長	小池 進一郎	S40年政経
//	高谷 一之	S40年商
//	村上 智雅子	S43年文研
//	山本 弘之	S51年商
幹事長	海老原 美宣	S53年法
副幹事長	松本 善夫	S53年政経
幹事	木全 輝彦	S40年法
//	田中 由紀	S41年教育
//	片倉 武	S42年政経
"	浜崎 慶子	S43年文
//	小田金 由太郎	S45年商
//	吉田 治實	S46年政経
//	大谷 光弘	S46年商
//	西 久男	S50年政経
//	木野 吉晴	H4年理工院
//	野口 英利	H6年法
//	関 俊彦	H10年教育
監査役	滝日 明	S33年政経
//	木野 綾子	H6年政経
顧問	野口 尚宏	S33年理工
//	日吉 照輔	S35年商
//	大塚 紀年	S38年商
//	実松 靖之	S38年政経
相談役	加藤 高一	S33年商
//	松島 洋	S34年政経
//	山口 宏	S37年政経
//	渡邊 俊一	S37年法
//	河野 喜明	S39年法
//	横須賀 晃	S46年政経

議 案 3 会則改正

を再任した。(左表)

た役員を除き、すべての役員

体調不良等により退会され

なかった。このため、 たが、会則上にはその規定は 開催できず書面議決を実施し 2年連続で対面での総会を

> 態発生など、会員が一堂に会 することが困難な場合は、 を追加した。 面により決議できる旨、

議案4 役員改選

計上した。(前頁令和4年度収 出予算は680,000円を 用や部会補助などを計上。支

の辞で総会を終了した。 以上の議事終了後、 実松靖之顧問の閉会 11 時

30



2022 年千葉県稲

11月27日(日) 東京ベイ幕長ホール

田中総長懇談会と熊谷知事講演 対面、リモートで開催

千葉県稲門祭が田中愛治総長、熊谷俊人知事を招き、昨年同様、対面と リモートで開催されます。今年は懇親会も実施します。ぜひご参加ください。 詳細については、同封の支部だより6、7ページをご覧ください。

◆内容 第一部 田中総長懇談会 14:30~15:30 第二部 熊谷知事講演会 15:40~16:20 第三部 懇親会 17:15~18:45



田中愛治総長



熊谷俊人知事

◆会費 対面:10,000 円(会より 2,000 円の補助あり)/ リモート:1,000 円

◆申込方法 10 月末までにメールまたは電話で下記までお申し込みください。

メールの場合は、対面・リモートの別を明記して下さい。

◆申込先 海老原美宣 Email: ab_yossy@nifty.com

電話: 090-2720-1517

という集りがあり、一度だけ 中の一つが、「商学部女子の会

の登山。東京オリンピック開

稲田祭の間の尾瀬と至仏山へ

春休みの九州一周旅行。早

はあまり無い。僅かな記憶の ていたので商学部での思い出 のだ。男子学生の中に埋没し

琴の音に寄せて

佐藤厚子 韶 40 商

活を楽しめたのは幸運だった。 の全国的な大学紛争の始まる モが治まり、 昭和43年前後 んだ安保改定反対の激しいデ 早稲田に入学したのは昭和 年。大勢の学生を巻き込

前の、平穏な4年間の学生生 校が、以前は柔剣道で全国に というのは、私の卒業した高 この雰囲気に慣らされていた 名だけという状態。3年間で 50名のうち女子生徒が35 名を馳せた男子校で一学年3 を感じることが無くなった。 さえ女子学生は私一人だけ。 最初は驚いたが程なく違和感 少なく、200人の大教室で 商学部は女子学生が極めて

> 出席の折、後年大臣になった 田中真紀子さんの後輩として の顔があったこと。

楽しかったのは春休みや夏休 喫茶店での仲間との交流の方 た私には、寧ろ早稲田界隈の 邦楽サークルに所属していた。 主にサークル活動での出来事 みに行なった三泊四日の地方 会などに出演したものだった。 1 演奏会はあって、大隈講堂小 がはるかに楽しかった。当然 でもあまり練習熱心でなかっ の数々である。お琴と尺八の った。(右は当時の写真) ホールでの、早稲田祭のステ 足を運んでの合宿で、まさ サークルの一大イベントだ ・ジや、サークル独自の演奏 懐かしく思い出されるのは

> 茸たっぷりのうどんは絶品だ が懐かしく思い出される。 るのに、次々と色々な楽しさ った。半世紀以上も経ってい べた、当時は未だ安かった松 京都への二泊三日の旅を楽し 催中には夜行列車を使っての 南禅寺門前の茶屋で食

再開を心待ちにしている。 禍で活動が休止状態なので、 は嬉しい。ただ現在はコロナ る一方、此処我孫子の稲門会 での先輩後輩の方々とのご縁 今でも交流の続く仲間が居

拙句を一つ: 辿る若き日 夏の雲 琴の音に

市史にはまって 46年

岡本和男(昭38 理工)

の74年3月、湖北台へ新築 勤の内に、住宅公団の土地分 科を卒業し、化学会社に入社、 し、家族5人引っ越してきま 譲抽選に当たり、その2年後 新潟・倉敷・東京と巡った転 私は1963年、応用化学

聞けるぞと直ぐに参加するこ とにしました。 募集したので、 いろんな話が で教育委員会市史編さん室が 「市史研究講座」の講座生を ちょうどその頃、 市の広報

間調べ、報告として「講座」 旧我孫子町、 吉編さん室課員でした。以降、 して出版されました。指導し のようなものだったのです。 調べて土地の歴史を知るゼミ 話を聞くのではなく、自分で てくれたのは、独協大教授で で発表し、皆が原稿をまとめ、 旧湖北村の歴史テーマを一年 57 年早大政経卒の斎藤博先 ところが参加してビックリ。 「我孫子市史研究」第3号と 事務局は教え子の高木繁 旧布佐町、

告をまとめました。これ以後、 我孫子の地域と生活と中心テ まで十六号を数えました。 ーマを変えて講座は進み、そ 我孫子市史研究」は98 都度課題を決めて調べ、 報 年

切符代わりに持参して参加し、 夏合宿として各地を見学旅行 研究センター」という市民の 史研究講座」の頃、 言い忘れましたが、最初の「市 敷に転勤し、98年まで17 びふりだしの新潟、次いで倉 旧交を温めたものです。 するのに毎回「越乃寒梅」を 団体に入会していました。そ ん室が事務局の「我孫子市史 年間我孫子を留守にしました。 の仲間が斎藤先生を中心に、 私は、新居に7年居て、再 市史編さ

ができました。 賀登先生を中心に市史研究セ 編の「近世篇」執筆の誘いが かり市史に浸って楽しむこと できます。私も46年間しっ 身近な郷土史は素人でも精通 あり、筑波大副学長だった芳 てまとめることができました。 ンターの仲間の多くが参加し 2000年、我孫子市史本 受講していただいたりしてい

我孫子市の現在地に転居し

私の現況と展現

野川拡至(昭39商

私は現在80歳、昭和39年に商学部を卒業しました。生家の隣地には文京区立誠之生家の隣地には文京区立誠之さに孟母三遷の教えを地でいさに孟母三遷の教えを地でいくような環境で育ちました。学問を尊重する雰囲気があり学問を尊重する雰囲気がありました。

たのは昭和 63 年。生家は以 前麗澤大学の創設者故廣池千 九郎氏が居住されていたそれ なりの構えの家でしたが、古 くなり雨漏りがひどく、やむ をえずの転居でした。 こちらに来てから 65 歳半 ばまで会社勤務をしましたが、 はまで会社勤務をしましたが、 退職後は現在まで子の神台自 治会で、主として防災、防犯 を担当しています。救急講習 や防火講習の教育計画を作成 し、毎年自治会員に消防署で

> だきました。 警察署長連名の感謝状をいた 年5月に我孫子市長・我孫子 していますが、思いがけず今 していますが、思いがけず今 をの下校時に週1回見守りを をある。また、我孫子第一小学

円台というもので、このよう トです。参加といっても月1 幸運なことと思っています。 がら、工事予算は2000億 路を建設する計画があり、そ 撤去し、日本橋川の川底に道 橋の上を走る首都高速道路を 誘がありました。それは日本 が2030年と計画されてい ただ、第1期の工事完成時期 与できることは人生にとって 出席する程度です。しかしな 回の運営理事会に監事として 開発しようとするプロジェク な大規模な工事に遭遇し、関 れに伴い川沿いの市街地を再 る街区のプロジェクトから勧 数年前、日本橋再開発のあ

す。墓参時には本堂礼拝後、したいと思っています。野川家の墓は、文京区護国寺にあります。大隈重信侯の寺にあります。大隈重信侯の

大隈侯のお墓にお参りしてい大隈侯と同じお寺であること大隈侯と同じお寺であること

ツイッターの魔力

徳永和秋(昭45 法)

げ込むとできる輪の様に際限 ると、小生の投稿数は累計 者の経験を活かして政治ジャ 稿はまるで池の中に小石を投 ーがこちらの投稿をリツイー ーは約一千八百人。フォロワ 万五千本を上回り、フォロワ はツイッター。画面表示によ どで発信してきた。 講演や月刊誌、ツイッターな 入手、「これは」と言うものを 政治家や秘書に会って情報を た。週二回ほど国会へ通い、 ーナリストの仕事を続けてき 中でも最も注力してきたの (RT) してくれると、投 新聞社の政治部記

ではなかろう。

鬼力大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大
大<

で犯人探しで国会は騒然となころ、投稿では名を伏せたのころ、投稿では名を伏せたのの当たりにした。その金銭感の当たりにした。

に依拠し、画面を一般に開放する民間会社。いわゆる「公する民間会社。いわゆる「公する民間会社。いわゆる「公って一定の政治勢力に配慮すって一定の政治勢力に配慮すって一定の政治勢力に配慮すって一定の政治勢力に配慮する側面があり、それらへの批判や非難を重ねるとクリックでいくら操作しても画面が動かなくなる。いわゆる「凍結」がなくなる。いわゆる「凍結」がなくなる。

ところで近年、国会議員の質の劣化がよく指摘される。 質の劣化がよく指摘される。 でで変更したことに起因する との見解が最も有力だ。中選 学区だと自民党の場合、複数 学区だと自民党の場合、複数 が磋琢磨し、個性豊かで政策 に通じた魅力ある国会議員が に通じた魅力ある国会議員が に通じた魅力ある国会議員が で通じた魅力ある国会議員が

令和4年度総会講演会

|我孫子の地名あれこれ]|管見

村上智雅子 留 43 文研

名郡名をなるべ

く良い字を用い

纂の勅命で、

銅6年(713

奈良時代の和

たものです。

題してお話して頂きました。 の我孫子稲門会総会は、まず 高い天井のホール一面に響き 孫子育ちの元我孫子市役所勤 長の荒井茂男氏をお招きして 年は市史研究センター事務局 は恒例の講演会で幕開け。今 わたっていました。三年ぶり 会の挨拶と喜びは、この日の かかれなかった会員同士の再 『我孫子の地名あれこれ』と コロナ禍でなかなかお目に 荒井氏は我孫子生まれの我

> の内容を語られました。 口で、映像も添えて朗々と次 方です。氏は落ち着いた語り 関する知識は人一倍お持ちの 務の方で、我孫子や白樺派に

地名とは何か

通・集落」に由来し命名され 仰」、田畑などの「耕作」や「交 で、その土地の「自然)」や「信 後半)以前から人の営みの中 とは、文字が伝わる(4世紀 まず〈地名とは何か〉。地名

陸、武蔵などの国名、千葉、 ざ)」が全国的につけられまし されました。豊臣秀吉の天正 が定められ、下総、上総、常 10年「太閤検地」で「字(あ 和銅8年には国郡郷里制 しかも二字で表すよう制 葛飾などの郡名が表記

昭和 30 年に二町一村が合併 ざ)」が誕生し、明治 22 年の 制施行 52 年目となりました。 は我孫子市が誕生、今年で市 し我孫子町が、昭和 45 年に 市制・町村制施行で、我孫子 制度の確立で「大字(おおあ また、明治政府による地方 湖北村、布佐町が誕生。

荒井茂男氏(左) とスライドを使っ

ての講演風景(上)

我孫子の地名の由来

は古代の氏(うじ)や姓(か これは諸説ありますが、一つ 次に〈我孫子の地名の由来〉。

> 孫という説などがあります。 が息子の子、すなわち自分の でアビ=息子、コ=子で、我 訛ったもの。あるいは韓国語 村)という漁業関係の地名が が転じたとする説です。三つ 職大膳部に属し魚貝を貢進す する職業の氏族の名がアビコ 皇に魚や鳥などの食料を貢進 ばね)に関係した説です。天 イヌ語の ap-kotan(釣り針 目は外国語由来説として、ア る仕事の作業「網曳(網引)_ れました。二つ目は古代の官 で、所有地にこの名がつけら

川に挟まれた我孫子に相応し のが有力です。手賀沼と利根 に関係した氏族の名前という 現在、一つ目の古代の漁業

挙してみます。まず「久寺家」 これ〉について、いくつか列 名付けられました。また、「白 根戸・久寺家の一部が新しく あった所。「つくし野」は昭和 守が住んだ所という伝説と古 は、平将門の重臣・久寺豊後 代の税関係の役所「公事」が 50 年住居表示で、我孫子・ 最後に〈我孫子の地名あれ

> 城の中央という説があります。 という説と土手に囲まれた小 峠」は村境・標(ひょう)=峠 和 40 年に町議会で縁起の良 子社」があり、そこに松並木 れました。 て、その後住宅地に転用、 ンド」を目指して沼を埋め立 があったため。「若松」は昭和 されました。「並木」は、昔「天 よく育つ所でこの名がつけら い名前が付けられました。「中 大字我孫子が分けられて命名 山」「本町」「寿」「栄」は昭和 35年「東洋のディズニーラ 42 年の住居表示で、 「布佐」は、植物の「麻」が 昭

歴史に関わり命名され今日に 至っています。こうして見て 土地に興味と愛着が湧きます。 いくと、改めて自分の住まう 地名は、その土地の地形や

の多いひとときとなりました。 間の中で、荒井氏は6ページ 講演をなさり、考え学ぶこと 点に立って興味深く有意義な 我孫子の地名について広い視 に及ぶ立派な資料に基づいて、 以上、一時間という短い時

早稲田の杜に集まれ



我孫子稲門会

2022 10.23

決まりました。 年はオンライン開催となりま 本的にリアル開催することに してきたことから、6月に基 した。本年は5月頃から沈静 積もり積もった思いを楽し

ホームカミングデ

稲門祭は一昨年は中止**、** ださい。 オフィシャルサイト・校友会 ーの詳細は、2022稲門祭

となります。奮ってご参加く 方々は今回が最後のチャンス

せしますので、ご確認くださ なりました。深く感謝いたし 0円上回る82, 会全体で、昨年を18, ついては、会員の皆様の特段 WEB サイト等で随時お知ら のご協力を得て、我孫子稲門 稲門祭記念品購入に 000円と 0

切っています。ぜひとも皆様 を始めたいと実行委員は張り 戻るのではなく、新しい祭り みに変え、コロナ前の祭りに

催日は 10 月 23 日 (日) です。 のご参集をお願いします。開

また、あわせて行われるホ

会和4年7日1日現在

地区別校友数・会員数・地区委員一覧

ームカミングデーの対象卒業

		1		ı	ı	1	令和4年7月1日現在
地区	校友	会員	地区委員	地区	校友	会員	地区委員
布佐・布佐酉町・都	22	4	松島洋	白山2丁目	17	0	
布佐平和台1丁目	6	0		白山3丁目	25	3	大田行雄
布佐平和台2~7丁目	26	7	飽田浩一、山本弘之	船戸	28	4	佐藤信樹
南新木	8	1		台田	26	3	
新木・新木野	29	1		久寺家	29	8	小田金由太郎
下ヶ戸	11	0		つくし野1丁目	20	2	河野喜明、大塚紀年
古戸・中里	12	0	小嶋豊	つくし野2丁目	21	2	大竹純夫
日秀	7	2		つくし野3丁目	51	8	
中峠	2	3	海老原美宣	つくし野4丁目	7	0	松本守正
中峠台	6	2		つくし野5丁目	18	7	
都部・岡発戸	7	1		つくし野6丁目	25	3	
湖北台1~5丁目	34	3	北見正賢、大類裕久	つくし野7丁目	18	5	大塚紀年
湖北台6~10丁目	31	4		並木	39	8	高谷一之
栄	19	4	遠藤正彦、小池進一郎	我孫子1~4丁目	103	10	池原正道
泉	27	4	実松靖之、木全輝彦	我孫子 (上記以外)	3	0	小池進一郎
天王台	61	8	横須賀晃	根戸	31	0	
東我孫子	26	8	大谷光弘	青山	4	0	
高野山	30	5	佐々木宏三	青山台	58	10	吉田治實
若松	35	6	西久男、村上智雅子	南青山	2	0	
寿	37	8	滝日明	柴崎台	28	5	加藤高一
本町	5	0	渡邊俊一	柴崎	3	1	
緑	19	3		市外(東京、松戸、柏)		7	
白山1丁目	30	7	日吉照輔	合計	1,067	167	

[校友]は令和4年4月18日現在の早稲田大学校友会登録者

「会員」は令和4年7月1日現在の我孫子稲門会登録者

我孫子稲門会会員名簿

令和4年7月1日現在 167名

「布佐]			ו וחוי ניאנאני	<u> </u>	13 TH 1 1 773	
小山 和則 白戸 章雄 松島 洋 (東) (京田 良光 大槻 延広 園田 浩一 江畑 哲男 遠藤 正彦 (養	【布佐】	小島 秀夫	古賀 清昭	寺木 清次	佐々木 節子	片淵 雅章
白戸 章雄 松島 洋 瀬賀 正澄 濱田 良光 松本 善夫 「納戸」 大槻 延広 中杉 文雄 中朴 文雄 中朴 文雄 一年移 文雄 一年	岩田 信二	斎藤 公誉	佐々木 宏三	野口 英利	高橋 実	佐藤 信樹
松島 洋	小山 和則	諏訪 睦人	中村 敏	日吉 照輔	友野 海也	塙 和彦
【布佐平和台】 遠藤 正彦 別冊 正巳 集橋 宏昭 佐藤 晶英 日津 本村 匡男 大倉	白戸 章雄	瀬賀 正澄	濱田 良光	【船戸】	富山 稔	【青山台】
飽田 浩一 小倉 正巳 集橋 宏昭 西久男 長南 利彦 松本 守正 岩淵 雅孝 木村 匡男 佐藤 和彦 長南 利彦 [久寺家] 日黒 義二 佐藤 明永田 堅志郎 報本 陽一 (泉) 村上 智雅子 森田 茂生 小田金 由太郎 東松 靖之 [寿] 所本] 東松 靖之 [寿] 所本] 東松 靖之 [寿] 所書 西 哲 [天王台] 東松 靖之 [寿] 所書 西 哲 [天王台] 東北 韓田 勝見 [天王台] 東北 韓田 勝見 [天王台] 東北 韓田 神村 暢彦 [中峠] 本本 孫 野印 山田 宏 廣郎 明 「つくし野」 「本来 報	松島 洋	【栄】	松本 善夫	大槻 延広	中杉 文雄	有年 義隆
江畑 哲男 遠藤 博	【布佐平和台】	遠藤 正彦	【若松】	岡田 正宏	野中 憲	伊藤 碩
遠藤 博 篠崎 喜男 根本 陽一 深津 紘 村上 智雅子 棟本 康夫 中田 金 由太郎 永田 堅志郎 日黒 義二 山口 和親 永田 堅志郎 公 藤野 光孝 野田 郎 田 金 徳 服部 光孝 吉田 幸徳 服部 光孝 吉田 華徳 服部 清次 吉田 華徳 服部 清次 吉田 華徳 [集崎台] 小池 忠彦 [並木] 市来 和子 吉田 哲 長夕 和宏 市来 誠 宗岡 恒雄 高谷 一之 渡邉 明 「一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	飽田 浩一	小倉 正巳	柴橋 宏昭	佐藤 晶英	松本 守正	岩淵 雅孝
検吟 喜男	江畑 哲男	後藤 和徳	西 久男	長南 利彦	三浦 健司	木村 匡男
竹田 志帆 木全 輝彦 小田 金 由太郎 小田 金 由太郎 小地 進一郎 接田 英子 実松 靖之 (素田 英子 実松 靖之 (素田 英子 実松 靖之 (ます) 下来 和子 吉田 岩	遠藤 博	根本 陽一	深津 紘	【久寺家】	目黒 義二	佐藤 明
永田 裕二郎 増山 義也 小池 進一郎 実松 靖之 若林 光 長田 勝見 森田 英子 長野 泰栄 瀧田 明 (天王台) 黒河内 尚 所来 和子 市来 誠 (長野 女和宏 宗岡 恒雄 宗岡 恒雄 高谷 一之 深邊 明 (中崎 久照 中村 楊彦 度邊 明 (中崎) 吉田 幸徳 (並木) 服部 正二 諸井 清次 吉田 治 (中来 前 下来 誠 宗岡 恒雄 高谷 一之 深邊 明 上屋 德郎 中村 政人 大屋 傳 中村 政人 東野 方之 平村 八十 信明 長谷 景治 中村 政人 松村 信明 長谷 景治 下本橋 洋一 「大塚 紀年 一次原 正道 「大塚 紀年 「東我孫子」 「完 道廣 「東我孫子」 「完 道廣 「中崎台」 「中崎台」 「中崎台」 「中崎台」 「中島 武 「中島 武 「中島 武 「大田 石川 正和 「大田 行雄 大田 一加茂 隆 五島 敏夫 近藤 茂樹 野口 勝久 下山 八郎 下山 八郎 下山 八郎 下山 八郎 下山 八郎 下山 八郎 下山 八郎 下山 八郎 下山 一郎 下山 一 下山 一 下山 一 下山 一 下山 一 下山 一 下山 一 下山 一	篠崎 喜男	【泉】	村上 智雅子	榎本 康夫	山口 和親	永田 堅志郎
増山 義也 【新木野】 実松 靖之 若林 光 長田 勝見 【天王台】 【寿】 小池 忠彦 野口 尚宏 保々 和宏 高谷 一之 渡邊 明 「無新木】 【並木】 市来 和子 市来 誠 高谷 一之 渡邊 明 「柴崎台】 諸井 清次 吉田 的 市来 和子 市来 誠 高谷 一之 深邊 明 「柴崎台】 「東野 本 和子 市来 誠 高谷 一之 深邊 明 「上屋 後, 和秋 中村 殿 區 大屋 簡別 上屋 徳郎 中村 政人 松村 信明 長谷 景治 中村 政人 松村 信明 日寿公 中村 政人 松村 信明 日寿公 日寿 古屋 構 田中 由紀 松井 明治 長谷 景治 東野 方之 平林 清江 【我孫子】 小嶋 豊 小嶋 靖子 【申峠台】 「東我孫子】 「古広 誠一 「東我孫子】 「古広 誠一 「東我孫子」 「古」 「東我孫子」 「大塚 紀年 「京樫 道廣 「本 10回 宏 「大森 俊幸 「大森 俊幸 「大森 俊幸 「大森 俊幸 「大森 俊幸 「大森 俊幸 「大森 俊幸 「大森 俊幸 「大森 俊幸 「大本 大本 大本 野 友 「一面」 「大田 行雄 大田 一方 「本 10山」 「大田 行雄 大田 行雄 大田 行雄 大田 行雄 大田 行雄 大田 行雄 大田 行雄 大田 行雄 大田 行雄 大田 一方 「本野 妻子 大谷 光弘 本野 春日 「河野 重樹 関 俊彦 「山本 弘之 「大野 直崎 「別 20年 日田 一 「東子 「大路 八本 野口 「勝久 「東野 重樹 「東野 重樹 「大野 百晴 「大野 百晴 「大野 百晴 「大野 百晴 「大野 百晴 「大野 百晴 「大野 百晴 「本野 五島 「大野 五島 「大野 五島 「大野 五島 「大野 五島 「大野 重樹 「大野 重樹 「大野 五島 「大野 重樹 「大野 五島 「大野 五島 「大野 五島 「大野 重樹 「大野 重樹 「大野 百晴 「大野 百晴 「大野 百晴 「大野 百晴 「大野 五島 「大野 五皇 「大野 五皇 「	竹田 志帆	木全 輝彦	森田 茂生	小田金 由太郎	山口 宏	縄野 光孝
【新木野】 若林 光 片野 泰栄 瀧日 明 市来 和子 市来 誠 「集崎台】 「市来 誠 「東崎台】 「小笠原 博幸 信永 和秋 中村 暢彦 「 中村 東部 肇 」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	永田 裕二郎	小池 進一郎	森田 英子	黒河内 尚	吉田 幸徳	服部 正二
髭田 勝見 【天王台】 瀧日 明 保々 和宏 市来 誠 【柴崎台】 小笹 彰男 小笹 彰男 小笹 彰男 小笹 彰男 小笹 彰男 加藤 高一 上屋 徳郎 小笹 彰男 加藤 高一 土屋 徳郎 小笹 彰男 加藤 高一 土屋 徳郎 中村 暢彦 漢邊 明 上屋 徳郎 上屋 徳郎 中村 政人 上屋 徳郎 中村 政人 本橋 第一 上屋 徳郎 中村 政人 松村 信明 上屋 徳郎 中村 成人 本村 信明 上屋 徳郎 上屋 徳郎 大村 信明 上屋 徳郎 上屋 金郎	増山 義也	実松 靖之	【寿】	小池 忠彦	【並木】	諸井 清次
「南新木]	【新木野】	若林 光	片野 泰栄	野口 尚宏	市来 和子	吉田 治實
吉田 哲 尾崎 久照 中村 暢彦 野川 拡至 変渉 道明 大名 景治 中村 政人 東野 方之 本橋 洋一 日寿 といい 神子 日本 は 大塚 紀年 中村 政人 本橋 洋一 日寿 といい 神子 日本 は は まから できます。 まず	髭田 勝見	【天王台】	瀧日 明	保々 和宏	市来 誠	【柴崎台】
【中峠】	【南新木】	小笠原 博幸	徳永 和秋	宗岡 恒雄	高谷 一之	小笹 彰男
海老原 美宣 並木 喬 野見山 俊明 鮎川 麗子 長谷 景治 中村 政人 松村 信明 染谷 一夫 古屋 博 大屋 雅弘 東野 方之 松村 信明 田中 由紀 松井 明治 横須賀 晃 大竹 純夫 【我孫子】 磯貝 桓 「日秀」 市域須賀 晃 大塚 紀年 池原 正道 一市外】 小嶋 靖子 【東我孫子】 富樫 道廣 一大森 俊幸 近堂 邦夫 「中峠台】 新井 照男 渡邊 俊一 四嶋 久彌 北垣 武久 武井 勲 片倉 武 石川 正和 大田 行雄 九茂 隆 五島 敏夫 西川 將已 片倉 みつ子 大田 力哉 大田 行雄 五島 敏夫 野口 修 【都部】 大谷 光弘 木野 綾子	吉田 哲	尾崎 久照	中村 暢彦	渡邉 明	澤部 肇	加藤 高一
染谷 一夫 古屋 博 古屋 雅弘 安藤 昭彦 東野 方之 松村 信明 田中 由紀 松井 明治 横須賀 晃 大竹 純夫 【我孫子】 磯貝 桓 小嶋 豊 吉広 誠一 鈴木 重信 池原 正道 一市外】 小嶋 靖子 【東我孫子】 富樫 道廣 大森 俊幸 近堂 邦夫 【中峠台】 新井 照男 渡邊 俊一 岡嶋 久彌 北垣 武久 武井 勲 片倉 武 石川 正和 大田 行雄 小林 泰拓 西川 將巳 片倉 みつ子 及川 力哉 大田 行雄 五島 敏夫 野口 修 【都部】 大谷 光弘 木野 綾子 近藤 茂樹 野口 勝久 香取 典男 杉本 勝則 木野 吉晴 河野 喜明 京崎 慶子 【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 関 俊彦 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 四野 公一 「田本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	【中峠】	佐藤 厚子	野川 拡至	【つくし野】	瀧澤 道明	土屋 徳郎
田中 由紀 松井 明治 横須賀 晃 本橋 洋一 横須賀 晃 梅田 寛幸 大竹 純夫 大塚 紀年 同 宏 平林 清江 (集崎) 磯貝 桓 小嶋 豊 小嶋 靖子 (中峠台) 所倉 武 片倉 武 片倉 みつ子 (本部) 香取 典男 吉広 誠一 (東我孫子) 新井 照男 (白山) 大田 行雄 大田 一方雄 大田 一方世 河野 喜明 一首野 重樹 河野 重樹 河野 美香 大月 俊彦 大類 裕久 藤田 光宏 西野 公一 八路 順也 大田 一方 八路 原子 山本 弘之 一方 四本 弘之 一方 八路 原子 山本 弘之 一方 八路 原子 山本 弘之 一方 八路 原子 山本 弘之 一方 八路 原子 山本 弘之 一方 八路 原子 山本 弘之 一方 八路 原子 八路 原子 山本 弘之 一方 八路 原子 八路 原子 八路 原子 八路 原子 八路 原子 八路 原子 八路 原子 八路 百野 公一 八路 一方 八路 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一	海老原 美宣	並木 喬	野見山 俊明	鮎川 麗子	長谷 景治	中村 政人
【日秀】 横須賀 晃 【緑】 大竹 純夫 【我孫子】 磯貝 桓 小嶋 豊 吉広 誠一 鈴木 重信 池原 正道 池原 正道 池原 正道 近堂 邦夫 小嶋 靖子 【東我孫子】 窟樫 道廣 岡 宏 北垣 武久 武井 勲 「中峠台】 石川 正和 「白山】 梶本 幸男 小林 泰拓 西川 將巳 片倉 みつ子 及川 力哉 大田 行雄 加茂 隆 五島 敏夫 野口 修 【都部】 大谷 光弘 木野 綾子 蒲生 邦道 近藤 茂樹 野口 勝久 「本野 喜明 草野 重樹 浜崎 慶子 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 四野 公一 大類 裕久 藤田 光宏 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	染谷 一夫	古屋 博	古屋 雅弘	安藤 昭彦	東野 方之	松村 信明
小嶋 豊 吉広 誠一 鈴木 重信 大塚 紀年 池原 正道 近堂 邦夫 小嶋 靖子 【東我孫子】 窟樫 道廣 出垣 武久 近堂 邦夫 【中峠台】 新井 照男 渡邊 俊一 根本 幸男 小林 泰拓 西川 將已 片倉 武 万川 五市 大田 行雄 加茂 隆 五島 敏夫 野口 修 【都部】 大谷 光弘 木野 吉晴 河野 喜明 萱野 重樹 浜崎 慶子 【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 西野 公一 「田本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	田中 由紀	松井 明治	本橋 洋一	梅田 寛幸	平林 清江	【柴崎】
小嶋 靖子 【東我孫子】 富樫 道廣 岡 宏 大森 俊幸 近堂 邦夫 【中峠台】 新井 照男 渡邊 俊一 田嶋 久彌 北垣 武久 武井 勲 片倉 武 石川 正和 大田 行雄 小林 泰拓 西川 將巳 片倉 みつ子 及川 力哉 大田 行雄 加茂 隆 五島 敏夫 野口 修 【都部】 大谷 光弘 木野 綾子 河野 喜明 河野 重樹 浜崎 慶子 【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 関 俊彦 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 四野 公一 岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	【日秀】	横須賀 晃	【緑】	大竹 純夫	【我孫子】	磯貝 桓
【中峠台】 新井 照男 渡邊 俊一 岡嶋 久彌 北垣 武久 武井 勲 片倉 武 石川 正和 大田 行雄 加茂 隆 五島 敏夫 野口 修 片倉 みつ子 大田 行雄 加茂 隆 五島 敏夫 野口 修 【都部】 大谷 光弘 木野 吉晴 河野 喜明 菅野 重樹 浜崎 慶子 【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 関 俊彦 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 四野 公一 本 岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	小嶋 豊	吉広 誠一	鈴木 重信	大塚 紀年	池原 正道	【市外】
片倉 武 石川 正和 【白山】 梶本 幸男 小林 泰拓 西川 將巳 片倉 みつ子 及川 力哉 大田 行雄 加茂 隆 五島 敏夫 野口 修 【都部】 大谷 光弘 木野 綾子 蒲生 邦道 近藤 茂樹 野口 勝久 香取 典男 杉本 勝則 木野 吉晴 河野 喜明 菅野 重樹 浜崎 慶子 【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 関 俊彦 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 四野 公一 本 岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	小嶋 靖子	【東我孫子】	富樫 道廣	岡 宏	大森 俊幸	近堂 邦夫
片倉 みつ子 及川 力哉 大田 行雄 加茂 隆 五島 敏夫 野口 修 【都部】 大谷 光弘 木野 綾子 蒲生 邦道 近藤 茂樹 野口 勝久 香取 典男 杉本 勝則 木野 吉晴 河野 喜明 菅野 重樹 浜崎 慶子 【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 関 俊彦 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 西野 公一 岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	【中峠台】	新井 照男	渡邊 俊一	岡嶋 久彌	北垣 武久	武井 勲
【都部】 大谷 光弘 木野 綾子 蒲生 邦道 近藤 茂樹 野口 勝久 香取 典男 杉本 勝則 木野 吉晴 河野 喜明 菅野 重樹 浜崎 慶子 【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 関 俊彦 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 西野 公一 岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	片倉 武	石川 正和	【白山】	梶本 幸男	小林 泰拓	西川 將巳
香取 典男 杉本 勝則 木野 吉晴 河野 喜明 菅野 重樹 浜崎 慶子 【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 関 俊彦 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 西野 公一 岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	片倉 みつ子	及川 力哉	大田 行雄	加茂 隆	五島 敏夫	野口 修
【湖北台】 竹生 昭 黒井 榮治郎 河野 美香 関 俊彦 山本 弘之 大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 西野 公一 岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	【都部】	大谷 光弘	木野 綾子	蒲生 邦道	近藤 茂樹	野口 勝久
大類 裕久 藤田 光宏 近藤 廣 小島 順也 西野 公一 岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄	香取 典男	杉本 勝則	木野 吉晴	河野 喜明	菅野 重樹	浜崎 慶子
岡本 和男 吉田 富雄 鈴木 武史 小松 庸信 深井 義雄 ◆	【湖北台】	竹生 昭	黒井 榮治郎	河野 美香	関 俊彦	山本 弘之
	大類 裕久	藤田 光宏	近藤 廣	小島 順也	西野 公一	•
	岡本 和男	吉田 富雄	鈴木 武史	小松 庸信	深井 義雄	•
礼兄 止貝 【向野山】	北見 正賢	【高野山】	須藤 英華	小森 芳明	【台田】	*



我孫子稲門会事務局

〒270-1121 我孫子市中峠 1264 幹事長 海老原美宣 **23** 090-2720-1517 感染者数は減少傾向にあり、コロナの終わりが見えてきたとの見解も示されています。との見解も示されています。との見解も示されています。ます。皆さんのご協力をお願いいたします。

りました。

活動再開への確かな一歩となることはできませんでしたが、

もない3年振りの対面総会。

来賓も懇親会も『都の西北』

